

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文書番号	227
		決裁期日	令和6年5月29日
名 称	令和6年度第1回介護保険事業運営協議会・地域包括支援センター運営協議会		
日 時	令和6年5月29日（水） 15時00分から16時30分		
場 所	保健福祉総合センターかみん 1階多目的ホール		
出席者	末岡委員、山谷委員、檜野委員、谷口委員、大村委員、大場委員、羽賀委員、前原委員、角波委員 齊藤町長、三好課長、飯村主幹、加藤施設長、佐藤（智）主任介護支援専門員、田中主任、瀬川主事、寺田主事 計17名		
内 容	<p>令和6年度第1回介護保険事業運営協議会・地域包括支援センター運営協議会を開催しました。内容については下記のとおりです。</p> <p>○委嘱状の交付 町長より各委員へ委嘱状交付。</p> <p>○町長あいさつ</p> <p>○委員自己紹介</p> <p>○事務局職員自己紹介</p> <p>議題</p> <p>1. 会長、副会長の選出 選出方法について、事務局一任との意見あり、会長に大場委員、副会長に谷口委員を選出。</p> <p>2. 第9期高齢者保健福祉計画介護保険事業計画の概要について（資料1） 別紙資料1のとおり本年度より3ヵ年を計画期間とする第9期介護計画の概要について飯村主幹より説明。</p> <p>3. 令和5年度介護保険事業の運営状況及び令和6年度事業計画について（資料2） 別紙資料2のとおり飯村主幹より説明。 高齢者の人口は、わずかに減少。今後も減少の予測だが、後期高齢者は、増加</p>		

内 容

しており、今後も R8 年頃までは、増加していく見込。

要介護認定者数は、ほぼ横ばいだが、要介護 3 以上の重度の方の割合は減少している。認定率も全道、全国平均より低く、サービス受給者が増加しているものの居宅サービスの利用者が増えていることから、サービスを利用しながら在宅生活が継続できている軽度の方が多いことがわかる。

介護保険事業基金については、R5 年度末で 5,225 万 3 千円の残高となっているが、第 9 期期間中の 3 年間で 2 千万円を取崩し、保険料に充てることで保険料の上昇を抑えることとしている。

【谷口委員】基金の運用方法として、利回りの良いものがいろいろな所に出ていると思うが、そのような運用については考えていないか。

【三好課長】介護保険事業基金は、介護保険料の上昇を抑える目的で介護保険事業の運営に使用するための基金の為、そのような運用については行う予定はない。

【谷口委員】介護保険料について単純にサービスを利用する人が多いから保険料が高くなるわけではないと先日テレビで見たが、元気な高齢者が多いと保険料の抑制につながるのか。

【三好課長】施設サービスは、給付費が高額なため、介護予防に努め重度化しないようにすることで、給付費が抑えられる。当町は、全国平均で見ても給付費が低い方で、介護給付費限らず、健診事業などにも力を入れているため、後期高齢者医療費なども全国平均より低くなっている。

4. 在宅福祉サービスについて（資料 3）

別紙資料 3 のとおり飯村主幹より説明。

配食サービスについては、独居高齢者や高齢者のみの世帯が増えてきていることから、主食、副食合わせて前年度より 1,100 食以上の増となっている。

除雪サービスについては、利用者数は横ばいだが、今季の積雪量が少なかったことから、提供時間は大幅に減少している。

また、本年 4 月よりワンストップ化を目的に社会福祉協議会に委託している理容・配食・移送・除雪の 4 事業について、受付申請から利用契約まで社協で行うように変更している。

【谷口委員】在宅福祉サービスにない支援について、新たにメニューを増やす予定はあるか。また、お年寄りの足の確保として、現状の乗り合いタクシー以外に何か事業拡大する予定はないか。

【三好課長】在宅福祉サービスについては、現状これ以上のメニューを増やす予定はない。在宅福祉サービスのメニューにない、ちょっとした御用聞きは、社協に委託しているおたすけサポーター事業で対応している。

高齢者の足の確保については、乗り合いタクシーの料金を本年度より一律とし、地域間格差の解消を図った。

5. 令和 5 年度地域包括支援センター活動報告及び令和 6 年度活動計画について（資料 4）

別紙資料 4 のとおり加藤施設長より説明。

総合相談支援業務について、件数が前年より減っているが、R5 年度にシステ

内 容	<p>ムの変更を行ったことにより、カウントの方法が変わり、相談からサービスのつながったケースが件数から除外される仕様となったためであり、全体の件数については、ほぼ前年並みとなっている。</p> <p>6. 上富良野町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について（資料5）</p> <p>別紙資料5のとおり飯村主幹より説明。</p> <p>ニーズ調査票・在宅介護実態調査票については、（株）ぎょうせい 須藤研 究員より説明。</p> <p>7. その他</p> <p>【檜野委員】包括支援センターでケアマネを募集しているが、なかなか採用につながらないということのだが、ケアマネ自体が減っている。業務が大変なことから、新たに資格を取ろうという人が減っていたり、資格を持っていても更新費用が高いため更新せずに流してしまう人も増えている。富良野市では、更新費用の助成などを行っている。そういった取り組みなども検討必要ではないか。</p> <p>【三好課長】ケアマネに限らず、保育士や看護師等様々な専門職が減っており、どの職種も人の確保が大変な状況。ケアマネも受験者数が減っているうえに、合格率もかなり低い難しい試験の為、助成をすとしても何回目まで助成するかなどの検討が必要。</p> <p>8. 今後の予定について</p> <p>本年度は、年3回の開催とし、第2回 10月下旬、第3回 3月開催予定であることを確認した。</p>
-----	--